

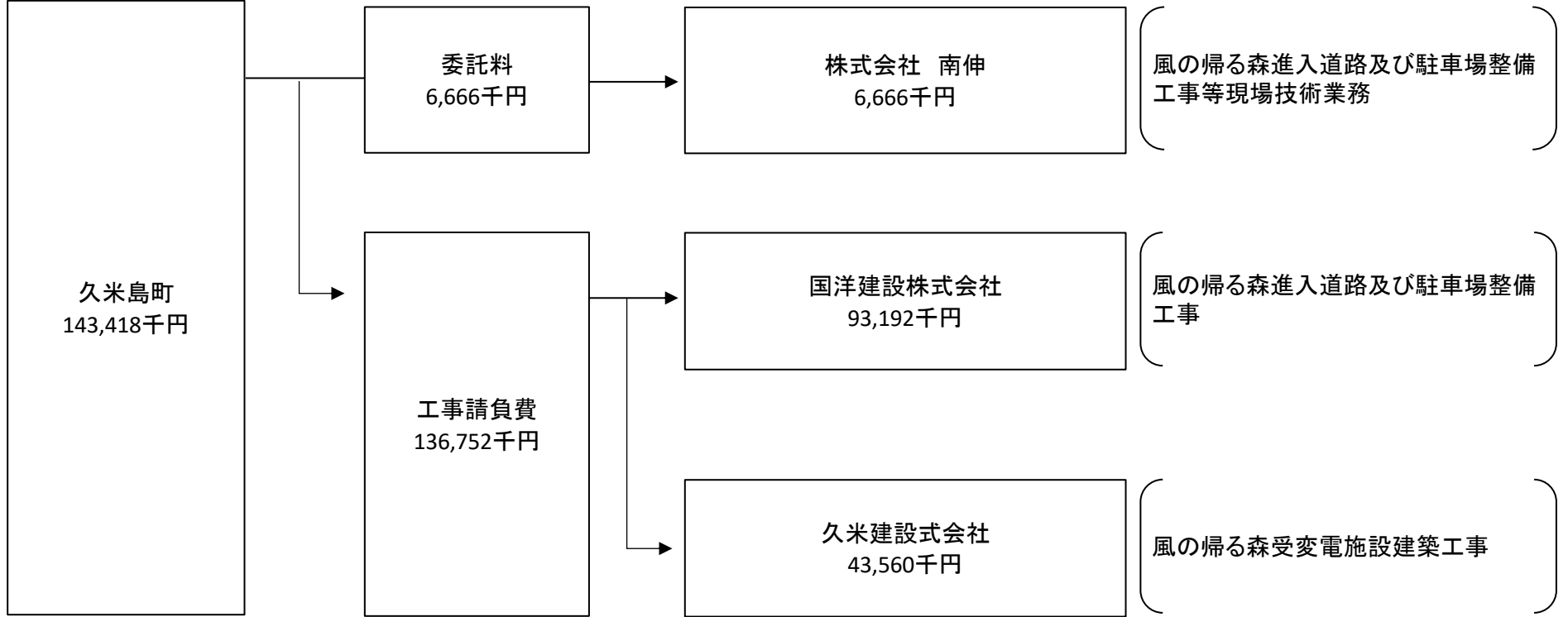
市町村名	久米島町						
令和元年度（繰越）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	風の帰る森プロジェクト推進事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	プロジェクト推進課			事業実施（予定）年度	平成29～令和3年度		
事業内容	観光誘客及び企業誘致を図るため、町外からの寄付金を基に整備する交流施設と相乗効果が期待できる周辺設備を整備する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R5年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）		H29年度	H30年度	H30年度（繰越）	R1年度	R1年度（繰越）	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,655	111,293	-	147,400	-
		(b) 予算現額	19,655	111,293	-	147,400	-
		(c) 増減額（b-a）	0	0	-	0	-
		(d) 繰越額	0	0	76,244	0	147,400
		A. 計（b+d）	19,655	111,293	76,244	147,400	147,400
		B. 執行済額	19,618	35,049	31,697	0	143,418
		うち補助金充当額	15,694	-	53,397	0	114,733
		次年度繰越額	0	76,244	0	147,400	0
		執行率（％）（B/A）	99.8%	31.5%	41.6%	0.0%	97.3%
予算の状況の説明	進入道路の路盤掘削工事及び駐車場の切土工事の施工時に、当初想定していなかった巨大な岩石が多数出土し、その岩石の破碎、撤去、処分に不測の日数を要したため進入道路及び駐車場等整備工事（監理業務含む）を次年度事業として繰り越した。 不用額3,982千円については、入札減額によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
			H29年度	H30年度（繰越）	R1年度	R1年度（繰越）	
	進入道路及び駐車場整備	目標	（基本設計1件）	（用地測量1件 実施設計1件）	（工事1件）	（ - ）	
		実績	基本設計1件	用地測量1件 実施設計1件	-	工事1件	
	給水施設整備	目標	（施設設計1件）	（工事1件）	（ - ）	（ - ）	
		実績	施設本設計1件	工事1件	-	-	
	受変電施設整備	目標	（ - ）	（実施設計1件）	（工事1件）	（ - ）	
		実績	-	実施設計1件	工事1件	-	
	防火水槽整備	目標	（ - ）	（実施設計1件 工事1件）	（ - ）	（ - ）	
		実績	-	実施設計1件 工事1件	-	-	
達成状況説明	○受変電施設設置工事について、R2年3月に完了した。 ○進入道路の路盤掘削工事及び駐車場の切土工事の施工時に、当初想定していなかった巨大な岩石が多数出土し、その岩石の破碎、撤去及び処分に不測の日数を要したため進入道路及び駐車場等整備工事（監理業務含む）の工期を延長し、次年度事業として繰り越した後R2年6月に完了した。						

成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R5年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	当該エリアを訪れる観光客数	目標	(-)	(-)	(-)		(3,000人) 以上
		実績	-	-	-	45人	-
進捗 状況 説明	○当該エリアを訪れる観光客数 令和2年5月から交流施設を開館しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、R2年度実績は45人ととどまっている。						
取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて町基本方針として4月6日から9月5日まで来島自粛を要請していたことにより、観光シーズン中の集客ができず、令和2年度の観光客入域数は約5万人と例年の半数以下であった。 ○施設周辺の環境整備が進んでおらず、景観に魅力がない。			○観光客の2%が当該エリアを訪れてもらえるよう、魅力あるコンテンツづくりが必要である。 ○施設周辺環境を、施設の雰囲気に合わせて、なおかつ自然の魅力を引き出すよう、整える必要がある。			
今後の取り組み方針							
【観光客数】 ○アフターコロナに向けた各種コンテンツの強化を図る(宿泊サービスの向上に向けた体験ツールの形成、島産物を活用した飲食部門の強化など) 【周辺環境整備】 ○周辺環境整備実施にあたって、維持管理を独自でできるよう、外部講師を派遣し、実地指導や講義を通して、持続可能な環境整備技術を習得させる。							

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
143,418	143,418	114,733	28,685	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、 費目・ 用途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札など当町の契約規則にのっとり選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	業者見積及び基準単価等により積算しており、妥当な予算規模であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断している。